参考資料　1

プロフィール一覧

1　Joie Springer（ジョイ・スプリンガー）

フランス在住

世界記憶遺産委員会委員長

ユネスコの世界記憶遺産事務局である情報・コミュニケーション局知識社会部ユニバーサルアクセス・保存課を統括。

2　Michael Pearson（マイケル・ピアソン）

オーストラリア在住

世界遺産コンサルタント、「九州・山口の近代化産業遺産群」専門家委員会委員

田川市と福岡県立大学が共同で山本作兵衛氏の炭坑の記録画等を世界記憶遺産に登録推薦するにあたり、両者を代表し、登録推薦に関する代理人を務めた。

TICCIH：ティッキ（国際産業遺産保存委員会）オーストラリアの発起人で、ICOMOS：イコモス(国際記念物遺跡会議)オーストラリアでも多大な影響力を持つ。先史歴史考古学者。

オーストラリア政府の関係機関等において、文化遺産の調査、管理、計画等、３０年以上の経験を有する。

キャンベラ大学文化遺産学部の非常勤教授やオーストラリア国立大学客員教授も務める。

【講演等】

⑴　「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産シンポジウム（平成２３年２月２０日／福岡市）
　　パネルディスカッション「産業遺産の世界遺産価値をどう保全していくか」

⑵　ユネスコ世界遺産登録へ向けて講演会（平成２２年６月２２日／釜石市）
　　基調講演「九州・山口の近代化産業遺産群の世界的評価と橋野高炉跡」

3　近藤　誠一（こんどう　せいいち）

東京大学教養学部教養学科卒、東京大学大学院法学政治学研究科中退。

1972 年外務省入省。英国オックスフォード大学留学後、在米国日本大使館参事官、同公使、外務省経済局総務参事官などを経て、外務省経済局審議官、ＯＥＣＤ（経済協力開発機構）事務次長、外務省広報文化交流部長、国際貿易・経済担当大使、ＵＮＥＳＣＯ日本政府代表部特命全権大使、ユネスコ世界遺産委員会日本代表（オブザーバー）、駐デンマーク特命全権大使を務める。2010 年 7 月から文化庁長官。

文化・経済等の国際貢献が評価され、フランス共和国、チリ共和国、デンマーク王国において叙勲を受けている。

著書に「文化外交の最前線にて」（かまくら春秋社　2008 年）があるほか、テレビやラジオへの出演、新聞・雑誌への寄稿、連載等の執筆活動を行う。

【講演等】

⑴　東京大学教養学部附属教養教育高度化機構　新入生歓迎講演会（平成２３年４月２５日／東京都）
　　講演「これからの『文化』を語ろう」

⑵　公開講座：被災ミュージアムの支援と危機管理対策（平成２３年４月３０日／東京都）
　　特別講演　「震災復興の基軸は文化と芸術」

⑶　鎌倉市図書館開館百周年記念式典（平成２３年７月２０日／鎌倉市）
　　記念講演　「文化による日本の再建　～都市の役割～」

⑷　文化経済学会＜日本＞20 周年記念事業（平成２３年１１月２５日～２６日／東京都）
　　基調講演（対談）　近藤誠一×福原義春（資生堂名誉会長）×後藤和子（文化経済学会＜日本＞会長）

プロフィール一覧

４　有馬　学（ありま　まなぶ）

日本の歴史学者、九州大学名誉教授。

福岡市史編集委員会委員長。

「九州・山口の近代化産業遺産群」専門家委員会委員であり、同遺産群の世界遺産登録の推進にあたり、広域ブロック施策推進調査における検討委員会の座長を務める。

１９７１年東京大学文学部卒業。１９７６年同大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。九州大学文学部講師・助教授を経て、１９９４年から同教授。その後、同大学院比較社会文化研究科教授。２００９年３月に同大学を定年退職。２００９年４月から９月まで九州大学韓国研究センター客員教授。

主な著書に「昭和の歴史２３帝国の昭和」(講談２００２年／講談社学術文庫２０１０年)、「近代日本の企業家と政治―安川敬一郎とその時代」（吉川弘文館２００９年）がある。

中央公論２０１１年９月号に「山本作兵衛「炭坑画」をめぐって消滅した〈近代〉と世界記憶遺産」を寄稿。

【講演等】

⑴　清泉女子大学文化史学科・文化史学会共催講演会（平成２２年１０月４日／東京都）
　　講演「20 世紀の日本人における戦争と平和」

⑵　第 49 回日本女子大学史学研究会大会（平成２２年１１月２７日／東京都）
　　公開講演　「戦争と女性の<主体化>　―谷野せつと氏家寿子をめぐって―」

⑶　公開講演　「九州と東アジア−辛亥革命の衝撃」（平成２３年１０月２９日／福岡市）

⑷　「朝鮮人特攻隊」を描いた 1945 年制作の朝鮮映画「愛と誓ひ」上映会とシンポジウム（平成２２年１０月２０日／福岡市）
　　シンポジウム　－ 映画『愛と誓ひ』をどうみるか －

５　加藤　康子（かとう　こうこ）

都市経済評論家、「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会コーディネーター

マイケル・ピアソン氏と登録推薦者との調整を行うプロジェクトリーダーを務めた。

慶応義塾大学国文学科卒業。国際会議通訳を経て、米国 CBS ニュース東京支社に勤務。米ハーバードケネディスクール大学大学院都市経済学修士課程を修了後、東京にてトランスパシフィックエデュケーションネットワーク（株)、(株）ミケランジェロを起業。

著書に「産業遺産」（日本経済新聞社、１９９８年）があるほか、「エコノミスト」「学塔」「地理」など各紙に論文、エッセーを執筆。

【講演等】

⑴　大牟田市世界遺産登録推進セミナー2010（平成２２年８月３日／大牟田市）
　　基調講演「工業国家日本の出現・九州山口世界遺産構想と三池」

⑵　「世界遺産」特別講演会（平成２２年１２月５日／長崎市）
　　特別講演　「長崎の世界遺産価値と九州・山口の近代化産業遺産群」

⑶　「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産シンポジウム（平成２３年２月２０日／福岡市）
　　パネルディスカッション「産業遺産の世界遺産価値をどう保全していくか」(コーディネーター)